

景観文化財学

活用

No.	書名 / 論題	編著者	資料の解説 / コメント
206	歴史的遺産の保存・活用とまちづくり	大河直躬, 三船康道 編著: 梅津章子 [ほか] 著	歴史的遺産の保存から活用、まちづくりを考えます。法制度、アメリカや日本の実践例、都市計画での位置付けなど。
207	歴史的遺産の保護	加藤一郎, 野村好弘 編	文化遺産を守る手法とは。法律学の立場から、歴史保全活動が盛んなアメリカを中心に、日本やアジア太平洋諸国の法制度の現状と問題点を明らかに。
208	イスラエルの文化遺産マネジメント: 遺跡の保護と活用	岡田真弓 著	イスラエル建国以来の遺跡保全を、制度と実態から丁寧に示す。文化遺産をめぐる価値観の衝突の歴史から学ぶ課題。
209	遺跡と観光	澤村明著	遺跡が地域にもたらす様々な「効果」について経済学の立場から分析。文化遺産を観光や地域社会の持続的発展にどう活かすかを懇切に語る。
210	遺跡をさぐり、しらべ、いかす: 奈文研六〇年の軌跡と展望	国立文化財機構奈良文化財研究所編	奈良文化財研究所の60年の調査研究成果を紹介する講演会記録。遺跡を発掘して歴史を明らかにし、さらに後世へと伝える取り組み。
211	史跡整備と博物館	青木豊編	幅広く史跡整備の実態を把握し、公開・活用手段としての博物館の必要性を説きます。
212	城と石垣: その保存と活用	峰岸純夫, 入間田宣夫 編	中世史研究者であり、城郭保存にも長年取り組んできた2人が紹介する、城・石垣の活用と保存方法。
213	世界遺産と地域再生: 問われるまちづくり	毛利和雄 著	世界遺産は地域再生に役立つのか。日本国内の登録遺産などの現場を歩いて検討する。初版『世界遺産と地域再生』も
214	生きている文化遺産と観光: 住民によるリビングヘリテージの	藤木庸介 編著	地域活性化の手段として重視される観光推進と、文化遺産・生活文化の保全との両立の方法を探っています。類書に『世界遺産の地域価値創造戦略: 地域デザインのコンテクスト転換』
215	地域おこしと文化財	笹本正治 著	文化財を地域おこしにどう役立てるかを、著者のフィールドである長野の博物館活動、まちづくりの事例から考察。類書に『景観形成と地域コミュニティ』、『都市保全計画: 歴史・文化・自然を活かしたまちづくり』、『未来の景を育てる挑戦』
216	地域コミュニティ再生とエコミュージアム	深見聡著	協働社会のまちづくりを、地域コミュニティ論やエコミュージアムという仕組みに立脚して論じています。
217	地域と文化財: ボランティア活動と文化財保護	渡邊明義 編	地域の資料をめぐる、ボランティアによる保存活動の方法や具体例をまとめている。
218	地域を活かす遺跡と博物館: 遺跡博物館のいま	青木豊, 鷹野光行 編	各地の遺跡博物館の現状と課題を整理し、いま求められる遺跡の保存活用、教育効果について考察する。
219	地域文化財の保存・活用とコミュニティ: 山梨県の擬洋風建築を中心に	森屋雅幸 著	文化財の保存活用で重要なのは地域主義である。山梨から発信する遺産保全と地域住民の取り組みです。類書に『京都の近代化と伝統の形成—歴史資料の保存と活用』、『京都から考える都市文化政策とまちづくり』
220	風水害と観光客の増大による世界遺産の劣化と保全: 紀伊山地の霊場と参詣道を事例として	山本晴彦 編著	世界遺産、紀伊山地の霊場と参詣道で生じている問題から出発し、文化財の損傷事例を丹念に取り上げる。指定後の保全の重要性がよく分かる。
221	文化遺産と現代	土生田純之 編	保存活用と地域・市民社会の関係など、社会学、考古学、歴史学、建築学の立場から、文化遺産のあり方を検証する。
222	文化遺産と地域経済	澤村明著	経済的視点から、博物館資料や文化財といった地域の文化遺産について考察し、活用のあり方を探ります。類書に『芸術祭と地域づくり: “祭り”の受容から自発・協働による固有資源化へ』
223	文化遺産の保存活用とNPO: 法政大学第27回多摩シンポジウム報告集	法政大学多摩シンポジウム実行委員会編	文化財の保存活用で市民が活躍しています。NPOや地域との連携を考える上で参考になります。岩田書院ブックレット。

224	歴史遺産と環境	文化財保存修復学	文化遺産、環境や景観を守っていくための方法を、観光・景観論・修復・保存科学・災害など、多様な観点から紹介。
225	広域に所在する文化財群の調査と活用	兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会編	兵庫県内にはさまざまな文化遺産が点在しています。活用に向けた調査報告。
226	実験パブリックアーケオロジー：遺跡発掘と地域社会	松田陽著	考古学、遺跡調査は地域のコミュニティとどう関わり、人々と過去の魅力を深め、その保存に携わったらいいいのか。筆者の実践を通じた問い。
227	フランス都市文化政策の展開：市民と地域の文化による発展	長嶋由紀子著	20世紀後半のフランスにおける文化政策の展開を読み解く。文化をめぐる「共治」の成立と実践過程を探究する。
228	遺跡保存の事典	文化財保存全国協議会編	遺跡保存は日本でどのように取り組まれてきたのか。文化財保存運動についてまとめた初の事典。
229	奈良世界遺産と住民運動	石部正志, 杉田義, 浜田博生著	世界遺産である奈良は同時に、都市生活や観光開発の波にさらされています。奈良の自然と文化を守る活動と意義を考察。
230	文化政策の展望	小林真理編	文化遺産の地域での活用は、自治体による文化政策として取り組まれている。文化政策の課題と可能性を洗い出す。3冊シリーズ。
231	歴史都市の破壊と保全・再生：世界のメトロポリスに見る景観保全のまちづくり	アンソニー・M・タン著；世界都市保全研究会	ニューヨークで景観の保存に携わった著者が、世界を取材し、歴史の積み重ねられてきた都市文化財の破壊と再生を明らかにしています。
232	にぎわいと呼ぶイタリアのまちづくり：歴史的景観の再生と商業政策	宗田好史著	歴史的景観と都心コミュニティを守るための規制、施策がイタリアの観光・商業を再生させた様相から、都市計画の役割を問う。類書に『文化・景観・ツーリズム：イタリア観光再生計画の現在』
233	グローバル/ローカル：文化遺産	石澤良昭, 丸井雅子共編	国際社会と国家、地域のはざままで、アンコール遺跡は何を訴えているのか。文化遺産保存とアイデンティティ、パブリックの問題等々を検討する。
234	観光と地域 エコツーリズム・世界遺産観光の現場から	深見聡著	観光開発が進む文化遺産・自然遺産の現場から、地域の遺産をどう保存継承するかを見つめます。
235	文化財の活用とは何か	國學院大學研究開発推進機構学術資料センター	文化財保護制度の現状とともに、各地の取り組み、民俗芸能の継承などの問題を議論しています。
236	京都から考える都市文化政策とまちづくり：伝統と革新の共存	山田浩之, 赤崎盛久編著	京都は近代化と文化財保存の両方を追ってきた。文化の継承・景観・地域住民の取り組み・産業振興という4点を軸に分析し、住民の主体的活動を促す重要性を提言。
237	世界遺産「白川郷」を生きる リビングヘリテージと文化の資源	才津祐美子著	文化遺産の保存と生活をめぐる課題を、住民と研究者の視点とを交錯させ追究しています。
238	地域を活かすフィニルドミュージアム：波佐見焼窯業地のまちづくり	落合知子, 波佐見町教育委員会編	陶磁器生産で知られる長崎県波佐見市の、文化遺産を活用したまちづくりの紹介。
239	社会学で読み解く文化遺産：新しい研究の視点とフィールド	木村至聖, 森久聡編	モノはどのようにして文化遺産へなっていくのか。制度、思想などの4つの観点から社会的に考察する。
240	文化遺産の保存と活用：仕組と実際	小松弥生著	日本の文化遺産をめぐる課題を踏まえ、まちづくり、防災や国際協力などについて事例から検討。
241	文化資本：クリエイティブ・ブリテンの盛衰	ロバート・ヒューインソン著；小林真理訳	文化が介在を引っ張ることすら夢見たイギリスの文化政策は、結果何をもたらしたか。成果や政策的失敗などを取り上げ、今後を考える材料としている。
242	居心地のよい「まち」づくりへの挑戦：京都南部からの発信	杉本星子, 三林真弓編	京都・向島ニュータウンは造成から半世紀を経た。課題解決にむけた多様な実践と人びとの思いをまとめる。

243	東京遺産：保存から 再生・活用へ	森まゆみ 著	東京駅、同潤会、丸ビルなど東京の歴史的建造物の保存運動を記録し、再生・活用するための方策を提言。
-----	--------------------------------------	-----------	--